

第3回智美術館大賞展  
**現代の茶**  
—造形の自由—



秋山 陽 《無題 MV-104》

2010年7月31日(土)～11月7日(日)

菊池寛実記念 智美術館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-35 西久保ビルB1F

TEL03-5733-5131 FAX03-5733-5132

## 《「智美術館大賞展 現代の茶」について》

智美術館では、2006年度より、隔年の開催で「智美術館大賞 現代の茶陶展—造形の自由・見立ての美」を企画いたしております。この展覧会は、現代日本の陶芸を担う作陶家の方々に、御自身の自由な精神の所産としての茶陶を制作していただき、そこから二十一世紀の茶の湯のあり方を展望しようとするものです。このたび展覧会の名称を改め、「智美術館大賞展 現代の茶—造形の自由」として第3回展を開催いたします。

茶の湯は、中国から伝来した喫茶を独自に展開させた日本の重要な文化です。そのピークは桃山時代にあり、現代日本人の感性の源流の一端を成していると言えるでしょう。しかしながら、明治以来の日本人の生活様式は好むと否とにかかわらず、西洋の文明を深く享受したなかに生まれ、伝統の茶の湯文化は変貌し、本質的な、桃山人のなかにあった心の自由を失ってゆくようです。

日本の陶磁器の歴史もまた、桃山時代に茶の湯の場で用いられることによって、中国や韓国とは異なる独自の自由な造形性のなかに展開してきました。本展は、そうした歴史を踏まえ、しかも現代における自由な造形と見立ての美を探究しようとするものです。

展覧会へのご出品につきましては、主催者側であらかじめ選定させていただいた作陶家の方々のうち、開催の趣旨にご賛同いただいた皆様にご出品をお願いしております。また、本展は、作家の方々への助成を兼ね、下記の賞を設定しております。

## 《概要》

- 展覧会名 第3回智美術館大賞展 現代の茶—造形の自由
- 会期 2010年7月31日(土)～11月7日(日)
- 観覧料 一般1,000円 / 大学生800円 / 小中高生500円
- 主催 財団法人菊池美術財団、日本経済新聞社
- 協賛 京葉ガス株式会社
- 会場 菊池寛実記念 智美術館 (東京都港区虎ノ門4-1-35 西久保ビル)
- 開館時間 午前11時から午後6時まで (入館は午後5時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日 (ただし9月20日、10月11日は祝日開館)、祝月曜の翌火曜日
- 関連行事 会期中、呈茶“作家と語る(対談)”、学芸員によるギャラリートーク、西洋館見学会を開催 (開催日程は別紙をご覧ください。)

## 《賞について》

展覧会にご出品いただいた作家に対し、下記の賞金を菊池美術財団より贈呈いたします。

### ■選考■

財団理事長 菊池智

菊池寛実記念智美術館館長 林屋晴三

### ■賞金■

大賞（一名） 三百万円

優秀賞（二名） 百万円

### ■過去受賞者■（五十音順、敬称略）

第1回展(2006年) 出品作家 13名

大賞 鈴木藏

優秀賞 秋山陽 小池頌子

第2回展(2008年) 出品作家 13名

大賞 該当者なし

優秀賞 伊藤正 隠崎隆一 金重有邦  
前田正博 樂吉左衛門

## 《第3回 出品予定作家29名》（五十音順、敬称略）

秋山 陽（あきやま・よう）

伊藤 赤水（いとう・せきすい）

今泉 今右衛門（いまいずみ・いまえもん）

岡田 裕（おかだ・ゆう）

隠崎 隆一（かくれざき・りゅういち）

加藤 高宏（かとう・たかひろ）

兼田 昌尚（かねた・まさなお）

北村 純子（きたむら・じゅんこ）

小池 頌子（こいけ・しょうこ）

鈴木 藏（すずき・おさむ）

徳澤 守俊（とくさわ・もりひろ）

深見 陶冶（ふかみ・すえはる）

前田 正博（まえだ・まさひろ）

森野 泰明（もりの・ひろあき・たいめい）

樂 吉左衛門（らく・きちざえもん）

市野 雅彦（いちの・まさひこ）

伊藤 正（いとう・ただし）

内田 鋼一（うちだ・こういち）

小川 待子（おがわ・まちこ）

加藤 清之（かとう・きよゆき）

金重 有邦（かねしげ・ゆうほう）

川瀬 忍（かわせ・しのぶ）

鯉江 良二（こいえ・りょうじ）

崎山 隆之（さきやま・たかゆき）

高垣 篤（たかがき・あつし）

西端 正（にしはた・ただし）

前田 昭博（まえだ・あきひろ）

三原 研（みはら・けん）

柳原 睦夫（やなぎはら・むつお）

以上

## 《関連行事》

### ●呈茶十作家と語る

当館館長・林屋晴三が席主をつとめ、現代陶芸界を代表する作家のお茶碗でお茶をお召し上がりいただきます。道具立ては席主の見立てで、本展出品作家の作品をはじめ、現代の作品で構成いたします。ゲストと館長による本音トークもお楽しみください。

◆第1回 8月21日(土) 樂吉左衛門氏

◆第4回 10月2日(土) 隠崎隆一氏

◆第2回 8月28日(土) 加藤清之氏

◆第5回 10月9日(土) 今泉今右衛門氏

◆第3回 9月25日(土) 加藤高宏氏

◆第6回 10月16日(土) 柳原睦夫氏

と き 各日午後3時～午後4時30分

ところ 美術館展示室視聴覚コーナー

呈茶券(参加費) 2,000円(観覧料別) 要申込 1回35名様まで

### ●学芸員によるギャラリートーク

8月7日/9月4日、9月18日/10月30日の各土曜日、14時より

### ●西洋館見学会

9月11日(土)、10月23日(土) 午後2時より(予約制・定員20名様)

当館敷地内の西洋館(登録有形文化財)は、大正時代に建てられた後、修復を重ねながらも建具等の室内装飾が丁寧に保全され、今日まで使用されている希少な建物です。通常非公開の内部を、展覧会の期間中に特別公開いたします。

西洋館のご案内(建築家 篠田義男氏によるガイド)、美術館観覧料(学芸員の解説付き)、レストラン ヴォワ・ラクテでのお茶・ケーキのサービスを含め、お一人様8,000円です。

関連行事のお問い合わせ・ご予約や美術館(電話03-5733-5131)まで。

《貸出し画像》



2. 今泉 今右衛門  
《色絵雪花薄墨墨はじき雪柳文茶盃》



3. 北村 純子 《Vessel 10-B》



4. 前田 昭博 《白瓷面取茶盃》



5. 三原 研 《拓器花器》



6. 柳原 睦夫 《浮き水指》



7. 樂 吉左衛門 《焼貫黒樂茶碗》

■本展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースに紹介されている作品画像をデータでお貸し出しいたします。申込書のご希望の図版に☑を記し、用紙を返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階で事務局までお知らせください。お貸し出しする画像データは本展覧会終了をもって使用期限とさせていただきます。作品の画像を1点以上ご掲載の上、本展をご紹介くださる媒体に対し、本展ご招待券を読者プレゼント用に提供いたします。申込書、所定の欄に招待券希望の旨を明記してください。

**掲載に関するお問い合わせ先** 菊池寛実記念 智美術館 (担当:花里、島崎)

TEL.03 (5733) 5131 FAX.03 (5733) 5132 <http://www.musee-tomo.or.jp/>

## 掲載・画像貸出申込書

返信先 FAX: 03-5733-5132

### ●貴社基本情報

会社名:	
担当部署:	担当者名:
住所:	
電話	ファックス:
E-MAIL:	

### ●媒体情報

新聞 雑誌	媒体名:
	発行日:
TV ラジオ	媒体名:
	放送日:
ネット	URL:

### ●画像貸出リスト ※キャプションには作者・作品名と制作年を入れてください。サイズの単位はcmです。

希望作品に☑	作品キャプション
<input type="checkbox"/>	① 秋山 陽《無題 MV-104》2010年、h.25.5×58.5×54.5
<input type="checkbox"/>	② 今泉 今右衛門《色絵雪花薄墨はじき雪柳文茶盃》2010年、h.7.9×d.9.5
<input type="checkbox"/>	③ 北村 純子《Vessel 10-B》2010年、h.16.7×d.41.7
<input type="checkbox"/>	④ 前田 昭博《白瓷面取茶盃》2010年、h.10.1×d.12.2
<input type="checkbox"/>	⑤ 柳原 睦夫《浮き水指》2010年、h.29.2×d.29.8
<input type="checkbox"/>	⑥ 三原 研《炆器花器》2010年、h. 35.6×42.7×26.6
<input type="checkbox"/>	⑦ 樂 吉左衛門 《焼貫黒樂茶碗》2010年、h.11.2×14.2×12.2

●読者プレゼント用チケット希望: 5組10名様 10組20名様